

第9回 雄物川河川環境検討会

自然再生勉強会の報告

平成29年2月16日

国土交通省 湯沢河川国道事務所

1. 勉強会の趣旨・目的について

【趣旨・目的】

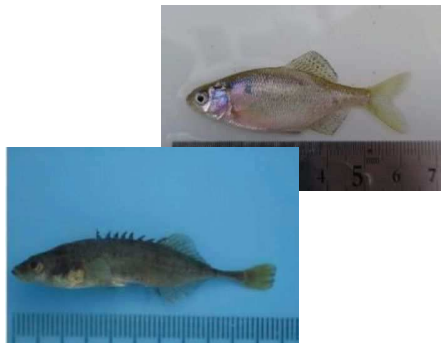
本勉強会は、雄物川・玉川の河川環境の変化を踏まえ、川の生物の住み処をどのように再生していくか、などの川の自然再生のあり方について、地域の方や関係者等と一緒に学び、考えていくことを目的とします。

また、将来的には、雄物川・玉川の特徴であるワンド・たまりの再生や再生後の利活用やモニタリング(見守り)を通じて、河川愛護意識の醸成・浸透を図るとともに、昔ながらの漁法「ためっこ漁」や環境学習等を通じた「川とのふれあいの再生」を展開し、地域一体となった川の自然再生を行っていくことも目的とします。

雄物川・玉川の自然再生に関する勉強会のイメージ



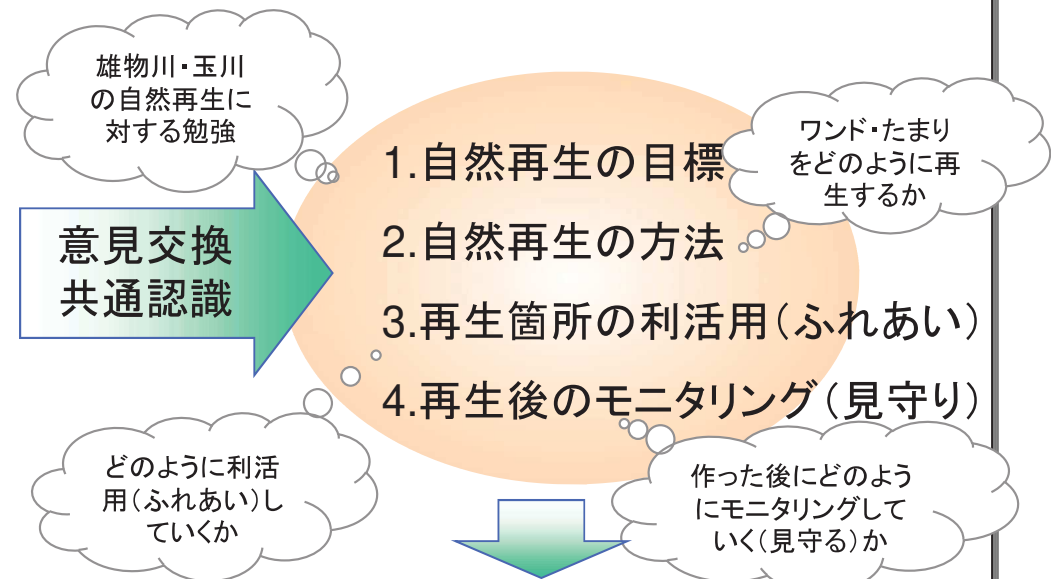
▲河川環境の変化、ワンド等の劣化・消失の現状



▲生息している生物



▲川と人とのふれあい



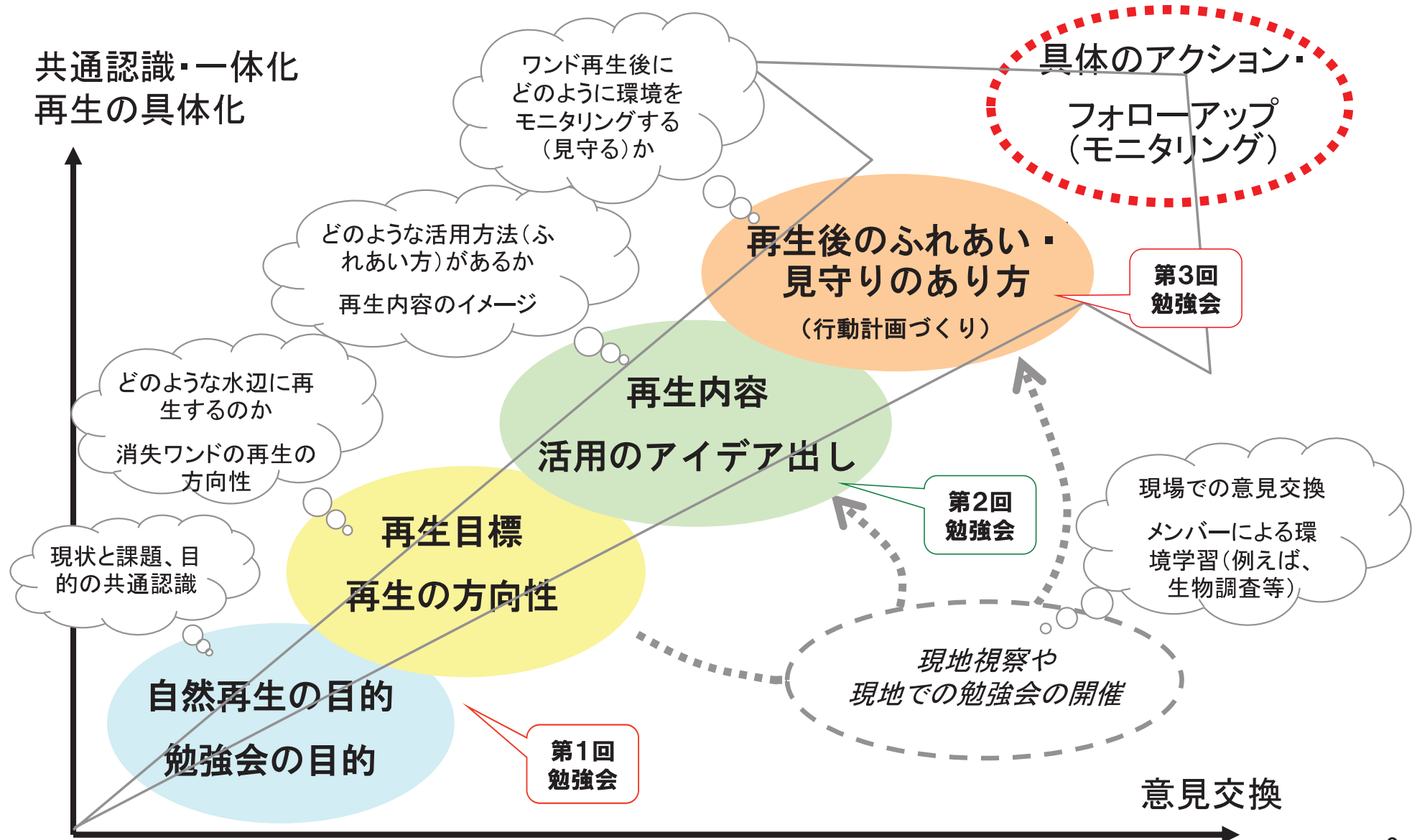
自然再生を通じたふれあい・見守り

1. 勉強会の趣旨・目的について

【進め方のイメージ】

●勉強会の進め方

雄物川・玉川の自然再生のあり方について、玉川の消失したワンドの再生をモデルケースとして勉強会を実施



1. 勉強会の趣旨・目的について

【具体の進め方】

●勉強会の進め方

勉強会	会議の概要	目的
第1回勉強会 2月6日	<ul style="list-style-type: none">・勉強会の目的・進め方・雄物川・玉川の河川環境の変化・自然再生の目的・目標・消失ワンドの再生内容の説明	<ul style="list-style-type: none">・勉強会の目的・進め方の合意・現状と課題、自然再生の共通認識・消失ワンドの再生の方向性についての確認
第2回勉強会 7月23日	<ul style="list-style-type: none">・玉川の水辺(ワンド)の環境に対する共通認識・再生の方向性の意見交換(ワンドの視察・各種調査・勉強会等)・消失ワンドの再生を通じた利活用(イベントや各種活動等のふれあい)に関するアイデア出し	<ul style="list-style-type: none">・玉川のワンド環境の把握・消失ワンドの再生内容のイメージの共有・再生を通じた利活用やモニタリングの方向性の確認
第3回勉強会 (12月10日: 今回)	<ul style="list-style-type: none">・消失ワンド再生箇所現地視察・再生を通じた具体的なアクションプラン(イベントや各種活動等のふれあい)や、再生後のモニタリング(見守り方法)に対する意見交換・今後の進め方(予定)について	<ul style="list-style-type: none">・消失ワンドの再生内容(工事内容)の最終確認・アクションプラン(利活用やモニタリング)の作成・今後の進め方の確認

2. 第3回勉強会の報告

【参加者の募集状況】

- 大仙市との事前打ち合わせ等も踏まえて、「雄物川・玉川の自然再生に関する勉強会」として開催する方針とし、募集用のチラシを作成した上で、下記的手段により参加者を募集しました。
- 最終的には、10名の応募があり、当日申込者5名を加え計15名が参加しました。

- ・ 市政だよりによる周辺自治会への配布
- ・ 公民館等への配布（四ツ屋公民館だより）
- ・ 大仙市広報のイベント欄へ掲載
- ・ 湯沢河川国道事務所のHPの掲載
- ・ 大仙市からの団体・学校等への呼びかけ

▼大仙市広報

情報交差点 Information

川の再生を一緒に考えませんか
玉川の自然再生に関する勉強会
玉川の自然再生に関する勉強会（河川環境再生）の開催を機に、川を綺麗にしたい、自然を大切にしたい、環境を良くしたい、など、多くの方からご意見を伺っています。今年も開催します。

◆日時/12月10日(土) 午前10時～12時
◆集合場所/四ツ屋公民館
◆参加費/無料
◆申込期限/12月5日(月)
【問い合わせ・申し込み】
湯沢河川国道事務所 工務第一課
TEL: 83-73-5504

参加者募集

「新春囲碁大会」
1/13(金)開催
恒例となった「新春囲碁大会」を、今年も開催します。

恒例となった「新春囲碁大会」を、今年も開催します。囲碁好きな方、囲碁に興味がある方、多数の参加を歓迎しております。

※併せて、古い服や長靴、帽子、タオル、防寒具等も参加を！
詳しくは、11月15日号だいでせんと日和と一緒に配布された「玉川の河川環境再生」のチラシをご覧ください。

2月6日、7月23日に行われ、今回3回目となる「玉川の自然再生に関する勉強会」(国土交通省湯沢河川事務所主催)が左記により行われます。当日は、まず参加者全員で伝統漁法「ためっこ漁」の勉強や、消失したワンドの現地状況を確認し、再生・利活用・管理の仕方、今後の進め方などについて考えていきたいと思っています。地域の皆さん、是非参加をお願いします。

日時 平成26年12月10日(土) 9時45分受付開始
集合場所 四ツ屋公民館
※併せて、古い服や長靴、帽子、タオル、防寒具等も参加を！

13日(金) 前10時～
屋公民館 200円
屋公民館 6-1600)
6日(金)
屋公民館
【問い合わせ】
花野小学校 TEL: 0167-63-1022

手作りの楽しさを味わおう
工作・学習講座
◆対象/小学生から高校生までの方
◆期日/内見/12月10日(土)・クリスマス/12月17日(日)・クリスマスアレンジ/12月27日(日)

▲四ツ屋公民館だより

募集結果

- ✓ 個人として参加 × 1名
- ✓ 地元協議会等の方 × 2名
- ✓ 環境・河川団体 × 3名
- ✓ 学校・教育関係者 × 3名
- ✓ 地元の建設関係 × 1名
- ✓ 当日申込者 × 5名

漁協の方2名には、当日ためっこ漁の実演にご協力いただいた。

玉川の河川環境の変化と再生について考えてみませんか?

～雄物川・玉川の自然再生に関する勉強会～

第3回 2016年12月10日(土)
時間/10:00～12:00(受付9:45～)
集合場所/大仙市 四ツ屋公民館

今年が節目の年。新しい目標を設定し、一つ一つ玉川の自然環境の変化を調査し、川の自然再生のあり方や、生物のすみかなどをどのように再生していくかについて、地域の方や関係者等と一緒に学び、考えていくことを目的とした勉強会です。

雄物川・玉川の現状
雄物川や、その支流の千川は、水生生物が生きてやすい環境である「ワンド」や「たまり」が多く、トモナ属植物のような貴重な魚類も生息しています。しかし近年、河床や川岸の緑化が進み、外來植物が増えたことで「ワンド」や「たまり」の面積が減少したり、消失する箇所も見られるようになりました。

ワンド・たまり・川がもたらす効果の地域ごとで、消失した場合は何が原因で消失したのかを調査します。

今回の勉強会(第3回)について
前回の勉強会では、参加者全員で玉川(現地の足)を歩き、水辺環境(ワンドや河原)の状況を確認し、自然再生に向けた意見交換を行いました。今回もまず参加者全員で玉川(現地の足)を歩き、自然環境(ワンドや河原)の状況を確認し、消失したワンドの現地状況を確認し、消失したワンドの再生の利活用や管理の仕方、今後の進め方などについて、地域のみなさんと一緒に学び、考え、アイデアを出し合いたいと思います。

前回は参加して下さった方も、今回が初めての方も、ふるってご参加ください。11月9日、自然に親しみがある方のご参加をお待ちしています！

雄物川は自然遺産へ
雄物川、玉川の自然再生に関する勉強会

▲チラシ(1500枚印刷)

勉強会の内容(予定)

第1回勉強会(水辺の自然観察)
● 雄物川や玉川の自然観察(水辺の自然観察)
● 玉川の自然再生に関する勉強会(河川環境再生)

第2回勉強会(ワンドの自然観察)
● 雄物川や玉川の自然観察(ワンドの自然観察)
● 雄物川や玉川の自然再生に関する勉強会(河川環境再生)

第3回勉強会(今回)
● 雄物川や玉川の自然観察(ワンドの自然観察)
● 雄物川や玉川の自然再生に関する勉強会(河川環境再生)

集合場所/大仙市 四ツ屋公民館
大仙市 四ツ屋公民館
大仙市 四ツ屋公民館

お申し込み方法
お申し込みはEメールまたはFAXにて受け付けます。Eメールの場合は、下記の必要事項を記載したメールを送ってください。FAXの場合は、この用紙に必要事項を記入の上、お送りください。当日はレクリエーション保険に加入していただきます(加入料は主催者負担)。

お申し込み・お問い合わせ先
湯沢河川国道事務所 工務第一課
担当/吉戸しほ子(電話) 83-73-5504
TEL/0183-73-5504
FAX/0183-73-3190
E-mail/shirota-s62ac@mlt.go.jp

お申し込み/お申し込み/お申し込み
氏名/ 年齢/ 性別/ 男性・女性/ 職業/ 住所/ 電話番号/ 所属する団体名、役職等/ その他、ご要望、ご希望の事項等(任意)を記載してください。

お申し込み/お申し込み/お申し込み
お申し込み/お申し込み/お申し込み
お申し込み/お申し込み/お申し込み

第3回勉強会の概要

- 日程：平成28年12月10日（土）
10：00～12：00
- 会場：四ツ屋公民館（バスで現地視察）
- 主なプログラム
 - ①現地視察（消失ワンド、玉川のワンド（ためっこ漁））
 - ②意見交換（公民館2F研修室）

ためっこ漁について

- ためっこ漁を初めて見た。勉強になった。
- 昔見たことがあったが、継承されていると感じた。これからも引き継いでいって欲しい。

参加者からの意見の概要

- ワンド・たまりの環境について、再生後のモニタリングの必要性に対する意見や、ためっこ漁等の川と触れあう機会の創出が重要であり継続したい旨の意見があった。

【消失ワンドの再生・河川環境】

- 玉川ダムが出来てからハリエンジュが増える等環境が変わってきている。自然豊かな川にしたい。
- 玉川の合流点について土砂が溜まらないか気になる。
- より良い環境整備をすることで地域の文化が伝承されると共に希少種が継続して棲めるようになる。是非頑張りたい。
- 改修工事でワンドを無くさないようにすることが大切。

【モニタリング】

- 工事後にどんな魚が集まってくるのか興味がある。
- 今後のモニタリングについて、どの様に生物が棲み着いていくのか遷移がわかると貴重な資料になる。整備後は1ヶ月から2ヶ月おきに生物相の変化を見て欲しい。

【ためっこ漁・利活用など】

- 今回のような体験を通じて川を学んで行くことを継続して欲しい。
- 自然と触れあう機会は大切であり、川と触れあう機会を今後も続けてほしい。
- ためっこ漁では、子どもと遊んだり、獲った魚を食べたりする。作ったものは利用しないと忘れるので、今から考える必要がある。
- 地域の若者が定住できるよう、子どもの頃から自分の地域を知ることが大切であり、玉川の環境についても覚えてもらいたい。

1. 開会の挨拶

HP非公表

▲四ツ屋公民会1Fロビー集合状況

▲開会の挨拶

2. 玉川消失ワンドの視察

HP非公表

▲消失ワンドの概要説明

▲試掘による地下水位の確認

▲再生内容の説明

2. 第3回勉強会の報告

【勉強会開催状況】

3. 玉川のワンド（伝統漁『ためっこ漁』 ※仙北中央漁協の方々のご協力で実施）

HP非公表

▲仕掛けていた柴の引き上げ①

▲仕掛けていた柴の引き上げ②

▲柴から小魚を獲る

HP非公表

▲捕獲した魚（複数種の魚）

▲杉山先生による魚の説明

▲みんなで捕獲した魚の観察

4. 意見交換会（四ツ屋公民館2F研修室）

HP非公表

▲杉山先生からためっこ漁の説明

▲意見交換会①

▲意見交換会②

3. 今後の予定（案）

【今後の予定(案)】

時期	H27年度 (2016年)			H28年度 (2016年)									H29年度 (2017年)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	設計・工事	→ 設計												→ 工事開始予定 (詳細時期は未定)										
勉強会	●						●																	

※工事の状況に応じて適宜開催

第1回（前々回）

<目的>

- ・現状と課題の共通認識
- ・勉強会の目的・進め方の合意
- ・消失ワンドの再生の方向性についての確認

<達成した事項>

- 雄物川・玉川の河川環境の現状と課題、自然再生目標について学んだ
- 再生内容を説明し、理解して頂いた
- 次回以降の開催方針について検討し承認を得た

第2回（前回）

<目的>

- ・玉川の水辺環境(ワンド)の把握
- ・消失ワンドの再生内容のイメージの共有
- ・再生を通じた利活用やモニタリングの方向性の確認

<達成した事項>

- 玉川のワンド・たまりに生息・生育する生物の確認(魚類調査)を行った
- 再生を通じた利活用に関するアイデア出しを行った

第3回（今回）

<目的>

- ・消失ワンドの再生内容(工事内容)の最終確認
- ・アクションプラン(利活用やモニタリング)の作成
- ・今後の進め方の確認

<達成した事項>

- 消失ワンドで再生箇所の確認を行った
- 再生後のモニタリングに対する意見をいただいた
- 今後の進め方についてご意見をいただいた

2017年 夏季頃

ワンド・たまりなどの河川環境とふれあえるイベントを予定